

平成28年度 開明中学校・高等学校 学校評価

1 めざす学校像

【建学の精神】

校訓「研精而不倦」(本校では、知・徳・体すべてにわたって自己を磨き続けることと解し、教育活動の実践的な柱としています。)

【教育目標】

- 1 男女共同参画社会において、社会のリーダーとして活躍する人間の育成
- 2 文系・理系を問わず、理数の素養を身につけ、21世紀の情報化社会に対応できる人間の育成
- 3 世界的視野に立ち、国際感覚に富む人間の育成
- 4 思いやりの心を持ち、社会的常識を備えた人間の育成
- 5 正しい生活習慣を身につけた、心身ともに健全な人間の育成

2 中期的目標

1 学習指導・進路指導

- (1) 授業改革(これまでの小テストを中心とした学習スタイルから、よく考えて勉強するいい学習習慣への転換を図るべく、学校全体で「授業改革」というスローガンを掲げて進める。)
- (2) 学ぶことの「意味」と「楽しさ」の追求
- (3) 指導力の向上

2 生徒指導・人権健康教育

- (1) 授業規律
- (2) 校則遵守
- (3) いじめの防止

3 行事・クラブ活動

- (1) 行事への積極的な参加
- (2) クラブ活動への自由な参加

4 施設・設備

- (1) 新校舎のフル活用

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [生徒・保護者：平成28年12月実施、教職員：平成29年2月実施]	学校評価委員会からの意見
<p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 肯定的評価が増加した主な項目 <ul style="list-style-type: none"> ・ この学校は、生徒に清掃、校内美化にしっかり取り組ませている。(中学 肯定率 79.7%。昨年度より 6.4%増。) ・ この学校の食堂の設備・料理・価格は満足のいくものである。(中学 肯定率 68.2%。昨年度より 13.8%増。) ・ この学校では、学習や進路についての面談や指導が適切に行われている。(高校 肯定率 89.8%。昨年度より 3.9%増。) ・ 進路指導部の説明会や情報、資料を自分自身の進路選択の参考にしている。(高校 肯定率 75.2%。昨年度より 3.9%増。) ○ 肯定的評価が減少した主な項目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳やHRの時間などで将来の進路や生き方について考える機会がある。(中学 肯定率 67.5%。昨年度より 3.7%減。) ・ この学校の生徒は、校則を守っている。(高校 肯定率 66.7%。昨年度より 5.0%減。) ・ この学校の先生は、色々な問題を見逃さずに対応してくれる。(高校 肯定率 73.0%。昨年度より 6.2%減。) <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 肯定的評価が増加した主な項目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもは、この学校に入って以来、家庭学習の時間が増えている。(中学 肯定率 74.4%。昨年度より 5.5%増。) ・ この学校は、地震や台風など非常時の緊急連絡体制を保護者に知らせている。(高校 肯定率 90.2%。昨年度より 5.0%増。) ○ 肯定的評価が減少した主な項目 <ul style="list-style-type: none"> ・ この学校は、子どもの様子について家庭への連絡などをきめ細かく行なっている。(中学 肯定率 75.4%。昨年度より 4.7%減。) <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 肯定的評価が増加した主な項目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校では、シラバスを通じて各教科・生徒に学習計画と学習進度を示している。(肯定率 95.3%。昨年度より 9.2%増) ・ 本校では、人格形成の重要な働きかけとして、生徒に対して各学年に応じた性教育を行なっている。(肯定率 74.1%。昨年度より 11.3%増。) ○ 肯定的評価が減少した主な項目 	<p>平成29年5月11日に学校評価委員会を実施。</p> <p>高校生および高校保護者のアンケートの回収率が50%台と低かった。アンケート用紙を手渡される高校生に、アンケートの重要性が十分に浸透していなかったように思われる。次年度からは、アンケートの大切さがもっと認識され、回収率が大きく上がるように、担任を通じての働きかけを強めたい。また同時に、PTA役員から保護者への働きかけも考えたい。</p> <p>学習指導に関するアンケート項目で、「この学校では宿題や課題がよく出される」と「私は宿題や課題があればきちんと取り組んでいる」の肯定評価の差が、中学で14.7%、高校で9.8%ある。その差を埋めるのは教員の授業力・教育力であろう。教員の一層の研鑽が求められる。</p> <p>中学生の清掃・校内美化の項目で肯定率が上がっているが、確かに数年前に比べ、女子トイレの清掃状態が改善されている。</p> <p>アンケートの「クラブ活動は、活動を希望する生徒が楽しく参加できるように行なわれている」という項目では、中学生・高校生とも肯定率が70%台である。私学であるがゆえに様々な地域から来ている生徒の通学時間も考慮に入れながら、肯定率をさらに上げて行きたい。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 私は、現在担当しているクラス・生徒の学習到達度にほぼ満足している。（肯定率 48.2%。昨年度より 12.2%減。） ・ 本校では、生徒が大学に限らず、将来の職業についても興味・関心を持てるように、学年に応じたキャリア教育を行なっている。（肯定率 63.5%。昨年度より 13.2%減。） 	
---	--

3 PDCAサイクルに基づく評価結果

中期的目標	Plan		Do	Check	Action
	重点的に取り組むことが必要な目標	評価指標	取組状況	達成状況	今後の改善方策
1 学習指導・進路指導	(1) 授業改革	ア「この学校は、内容の分かりやすい授業が多い。」(生徒アンケート) イ「私は、予習や復習をして授業を受けている。」(生徒アンケート)	ア 基礎学力の定着と学習意欲の向上に努め、手厚く丁寧な学習指導を実践 イ 予習復習にきちんと時間を割き、授業を中心とした学習スタイルを身に付けさせる	ア 中学 肯定率 87.1%。昨年度より 1.5%減。 高校 肯定率 88.8%。昨年度より 1.4%増。 イ 中学 肯定率 61.2%。昨年度より 0.9%増。 高校 肯定率 76.3%。昨年度より 2.8%増。	引き続き分かりやすい授業を追求していく一方、まだ十分とは言えない予習・復習の励行を強力に進めていく。 28年度は宇宙物理学者の池内了氏をお招きし、全校生徒を対象に進路講演会を実施した。また、高校1年生対象に、卒業生による大学・学部・研究内容の紹介イベントも行った。次年度以降もこのような進路を考えさせる取組みを継続したい。 年3回、各教科全員参加の研究授業を行なっているが、学年などのもっと小さな単位での相互授業見学も推進していきたい。
	(2) 学ぶことの「意味」と「楽しさ」の追求	ア「H.R(道徳)の時間などで将来の進路や生き方について考える機会がある。」(生徒アンケート)	ア 進路講演会の実施やH.R(道徳)などで将来の進路や生き方について考えさせる	ア 中学 肯定率 67.5%。昨年度より 3.7%減。 高校 肯定率 76.7%。昨年度より 0.8%増。	
	(3) 指導力の向上	ア「本校では、教員間で授業を見学したり、授業の内容等について意見交換を行う機会を設けている。」(教職員アンケート)	ア 研究授業(教員間での授業見学)の実施により、指導力のアップを図る	ア 肯定率 80.0%。昨年度より 7.9%増。	
2 生徒指導・人権健康教育	(1) 授業規律	ア「この学校の先生は、私語や居眠りなどはよく注意する。」(生徒アンケート)	ア 授業規律についての基本的な考え方を確認し、指導の統一性を図る	ア 中学 肯定率 91.5%。昨年度より 0.5%増。 高校 肯定率 86.0%。昨年度より 1.7%増。	授業は学校生活の中心であり、さらなる改善を追求したい。 肯定率が決して高いとは言えない上に、昨年度より減少している。規範意識を高める取組みを行ない、改善を図りたい。 引き続き、「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止に取り組んでいきたい。
	(2) 校則遵守	ア「この学校の生徒は、校則を守っている。」(生徒アンケート)	ア 校則(あいさつの励行、環境美化、服装、頭髪、礼儀、通学時のマナー、男女交際等)の遵守に努める	ア 中学 肯定率 57.6%。昨年度より 1.7%減。 高校 肯定率 66.7%。昨年度より 5.0%減。	
	(3) いじめの防止	ア「この学校は、人権侵害や差別を許さない教育、特にいじめの防止にはしっかり取り組んでいる。」(生徒アンケート)	ア いじめは絶対許さないというクラスの雰囲気づくりや人間関係づくりに努める	ア 中学 肯定率 80.5%。昨年度より 1.2%増。 高校 肯定率 84.5%。昨年度より 0.9%減。	

3 行事・ クラブ活動	(1)行事への積極的な参加	ア「行事は、生徒みんなが楽しく参加できるように行なわれている。」(生徒アンケート)	ア 行事の意義を理解させ、生徒の積極的な参加を図る	ア 中学 肯定率 82.8%。昨年度より 3.0%増。 高校 肯定率 73.3%。昨年度より 1.8%減。	本校では多くの行事を実施しているが、それらのひとつひとつの意義を明確にした上で、生徒がいきいきと参加できるような取組みになるよう、引き続き改善を図りたい。
	(2)クラブ活動への自由な参加	ア「クラブ活動は、活動を希望する生徒が楽しく参加できるように行なわれている。」(生徒アンケート)	ア クラブ活動の役割を重視し、より多くの生徒が参加できるように態勢を整え、クラブ活動の活性化を図る	ア 中学 肯定率 76.3%。 高校 肯定率 72.5%。	本校では、勉強とクラブ活動との両立が無理なくできるようにとの趣旨で「クラブ活動基準」を設けており、誰でも参加しやすい形になっている。楽しく参加できる生徒がもっと増えるように努めたい。
4 施設・設備	(1)新設備のフル活用	ア「この学校の施設設備は、学習環境の面でほぼ満足できる。」(保護者アンケート) イ「この学校の給食は充実している」(中学生徒アンケート)	ア 新校舎の施設・設備を最大限に活用し、教育水準のグレードアップを図る イ 旬の食材を活かした栄養バランスの良い献立で、美味しく安全な料理の提供を図る	ア 中学 肯定率 93.8%。昨年度より 0.7%増。 高校 肯定率 90.2%。昨年度より 1.1%減。 イ 中学 肯定率 43.0%。昨年度より 2.5%増。	地下温水プールの稼働率を高め、水泳の授業時間数を増やしたい。また、英語リスニング力・スピーキング力の向上のため、パソコン教室のCALLシステム等々の活用を推し進めたい。 給食に対する満足度は、昨年度より増したものの、依然として低い。生徒に詳細なアンケートをとり、給食業者とも相談して改善を図りたい。